

個人投資家の皆様へ 会社説明会

第一実業株式会社（証券コード：8059）

2026年1月20日【愛知県・稲沢市】

本資料に記載している当社のデータ、戦略、将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくもので、
実際の業績は種々の要因により大きく異なる可能性があり、これらの目標や予想の達成および将来の業績を保証するものではありません。



目次

01 会社概要

02 事業概要

03 成長戦略「V2030」・中期経営計画「MT2027」

04 株価・株主還元

05 本日のまとめ

01 会社概要

第一実業は

独立系 総合機械商社

自由な立ち位置で、さまざまな産業分野のお客様に
最適な機械や設備とソリューションを提供する企業



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025

数字でみる第一実業

創業

77年

創立 1948年

従業員数（連結）

1,467名

*2025年3月31日現在

技術者数（連結）

464名

*2025年3月31日現在

取引企業数

得意先 約3,900社

仕入先 約4,700社

売上高（連結）

221,755百万円

*2025年3月期

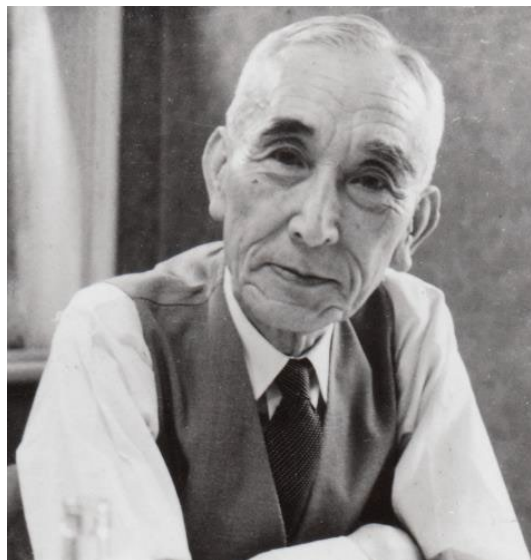
海外拠点数

18力国36拠点

*2025年12月30日現在



第一実業



初代社長 倉持正次郎

創業の精神

第一実業株式会社は、商事会社として経済社会の流通機構の一翼を担い、以て社会の繁栄に寄与することを目的として協力一致して積極的に活動し、堅実に運営して企業を安定成長せしめ、此処に働く人々の生活の向上幸福の増進を図る。

創業時の事業方針

倉持は、当時横行していた闇取引を一切認めず、下記のことを徹底いたしました。

1. 機械の売り買いのみに徹する
2. 大手企業・一流企業を取引相手とする
3. 銀行との信頼関係を大切にする

協力一致
堅実運営
積極活動

第一実業のあゆみ

進化する産業機械サプライヤー

1952年



石油・石油精製
製紙業界を開拓

1959年



プラスチック業界

1964年



自動車業界

1979年



医薬業界

1982年



エレクトロニクス業界

1989年

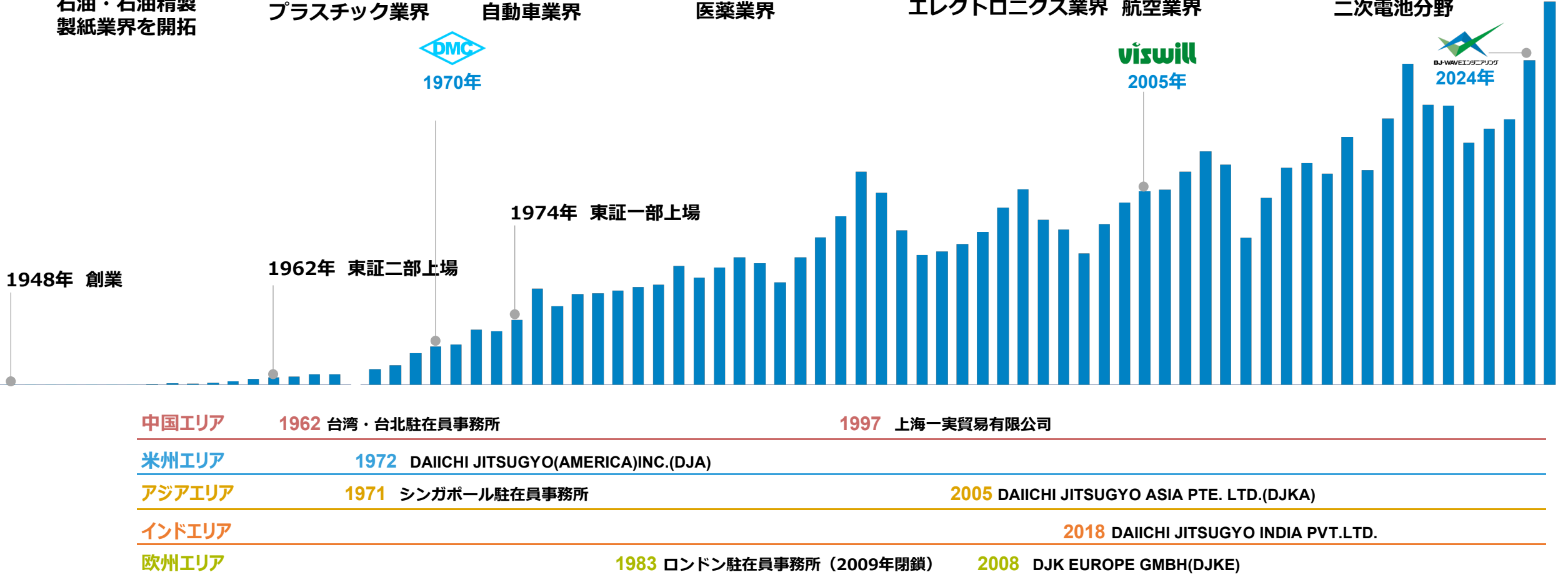


航空業界

2006年



二次電池分野



Mission

果たすべき使命

人をつなぎ、技術をつなぎ、世界を豊かに

Vision

あるべき姿

次世代型エンジニアリング商社

時代の一步先を行くモノづくりパートナーを目指し、当社独自のエンジニアリング機能を核として継続的な価値を提供する

当社のビジネスモデル

産業機械
メーカー

機械設備
工場設備
周辺機器

ソフト
ウェア

顧客軸 のビジネス

お客様ニーズに応え
幅広い商品や
サービスを提供

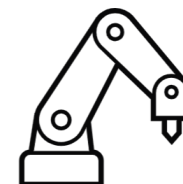
商品軸 のビジネス

特定の商品や
サービスを
幅広いお客様に提供

第一実業の付加価値



モノづくり 工場



消費者の皆様へ



第一実業の強み

特定の資本グループに属さない

独立系総合機械商社

現場力

モノづくり現場に
精通した営業が
最適設備を提案



エンジニアリング

多様な知見と経験で
複合的なエンジニア
リング機能を提供



グローバルネットワーク

18か国36拠点の
海外ネットワークで
お客様をサポート



ロジスティクス

物流専門部署による
国際物流の効率化と
高度なリスク管理



次世代型エンジニアリング商社

02 事業概要

事業内容



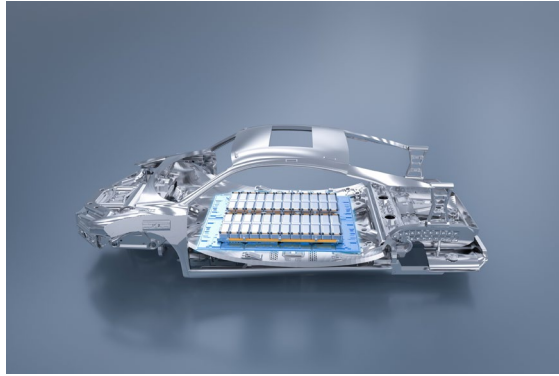
プラント・エネルギー

石油・化学



エネルギーソリューションズ

二次電池



産業機械

樹脂成形・塗装・医療



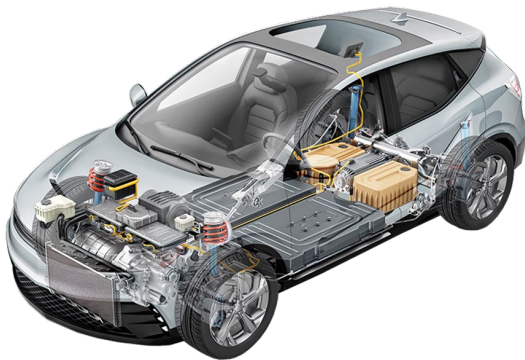
エレクトロニクス

電子基板・半導体・物流自動化



自動車

自動車



ヘルスケア

医薬・化粧品・健康食品



航空・インフラ

空港地上支援機材

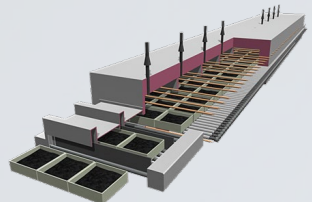


事業ポートフォリオ



7つのセグメントを「売上高成長率」と、収益性・安定性・成長性を踏まえた、
当社独自の指標である「事業評価平均値」で可視化しています。

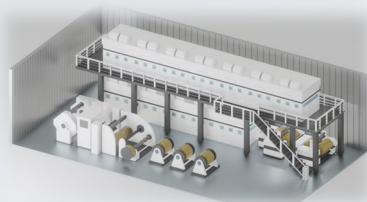
次世代エネルギー分野を通じてサステナブルな社会を実現



材料関連装置

電池材料となる正極材や負極材の混合、合成、加工

- ・ 粉体混合機
- ・ 焼成炉
- ・ 粉碎機
- ・ 充填機



電極製造装置

シート状の電極(正極・負極)を製造

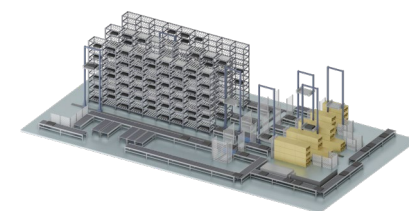
- ・ 混練機
- ・ 塗工装置(コーター)
- ・ ロールプレス機
- ・ スリッター



セル製造装置

正極、負極をセパレータと合わせ、電池セルのパッケージング

- ・ 巻回機
- ・ 積層機
- ・ 電池組立装置
- ・ 電解液注入機
- ・ X線検査装置
- ・ リーク/気密検査装置



検査装置

完成した電池に充放電テストを実施、最終検査

- ・ 充放電検査装置
- ・ OCV/DCIR/ACIR
- ・ 検査工程搬送(タクトシュミレーション)
- ・ 出荷梱包/パレ・デパレ
- ・ 各種検査装置
- ・ モジュール/パック装置

リチウムイオン・バッテリー生産における各工程の機器を提供

製造工程の上流から下流までのトータルソリューションを提供しています

次世代エネルギー分野への取り組み



脱炭素や安全性向上に資するサステナブルな商材の開発を促進

新規事業



SOLID-STATE
HIGH PERFORMANCE BATTERY

次世代電池

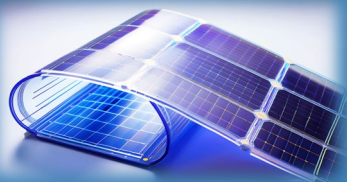
半固体・全固体電池向けに戦略的パートナーとの
連携強化。共同研究開発

ペロブスカイト太陽電池

製造工程に応用できるインクジェット装置拡販

リサイクル

サーキュラーエコノミーの一環で
電池リサイクル事業の創出





人と技術を繋ぎ「革新的なモノ作り」の提案を通じて「車社会の進化」へ貢献する！



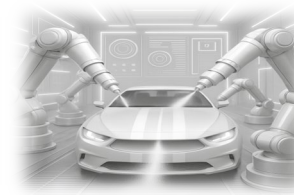
車体・内装 領域



車体内装



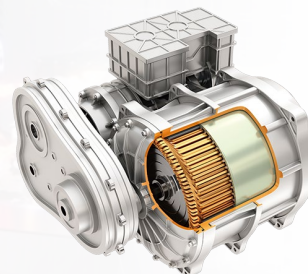
車体外装



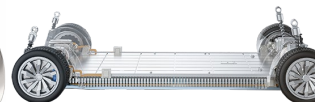
車体塗装



パワートレイン 領域



e-Axle



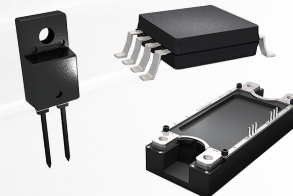
ギガキャスト製品



インバーター



自動運転・安全 領域



パワー半導体



ECU

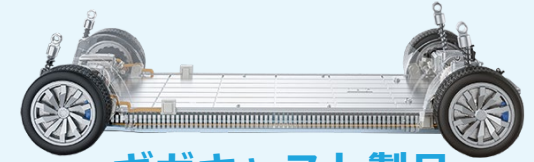


電動
ブレーキシステム

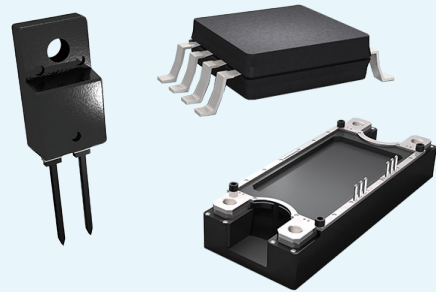
大手自動車や部品メーカーへ中核部品製造に必要な設備を提供



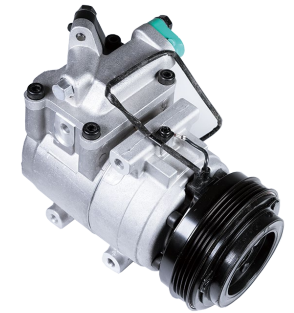
EV駆動モジュール



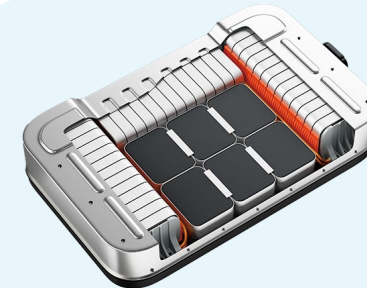
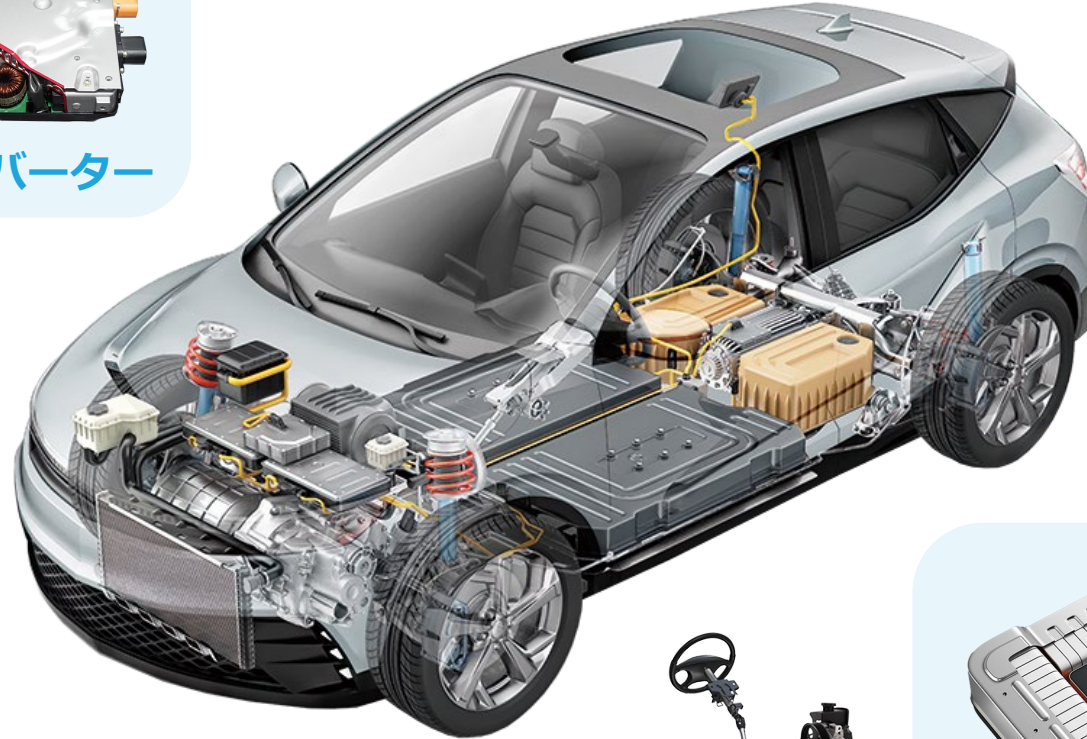
ギガキャスト製品



パワー半導体



電気コンプレッサー



リチウムイオン・
バッテリー



電動ウォーターポンプ



電動ブレーキシステム



電動パーキングブレーキ



電動パワー
ステアリングシステム

ヘルスケア

世界中の企業における生産性と品質を飛躍的に高めることにより、人々の健康に貢献すること



viswill
第一実業ビスウィル社製
錠剤外観検査システム



錠剤外観検査システム
錠剤印刷検査システム

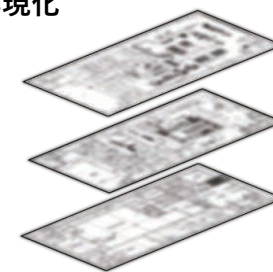


各種医薬品包装機



エンジニアリング

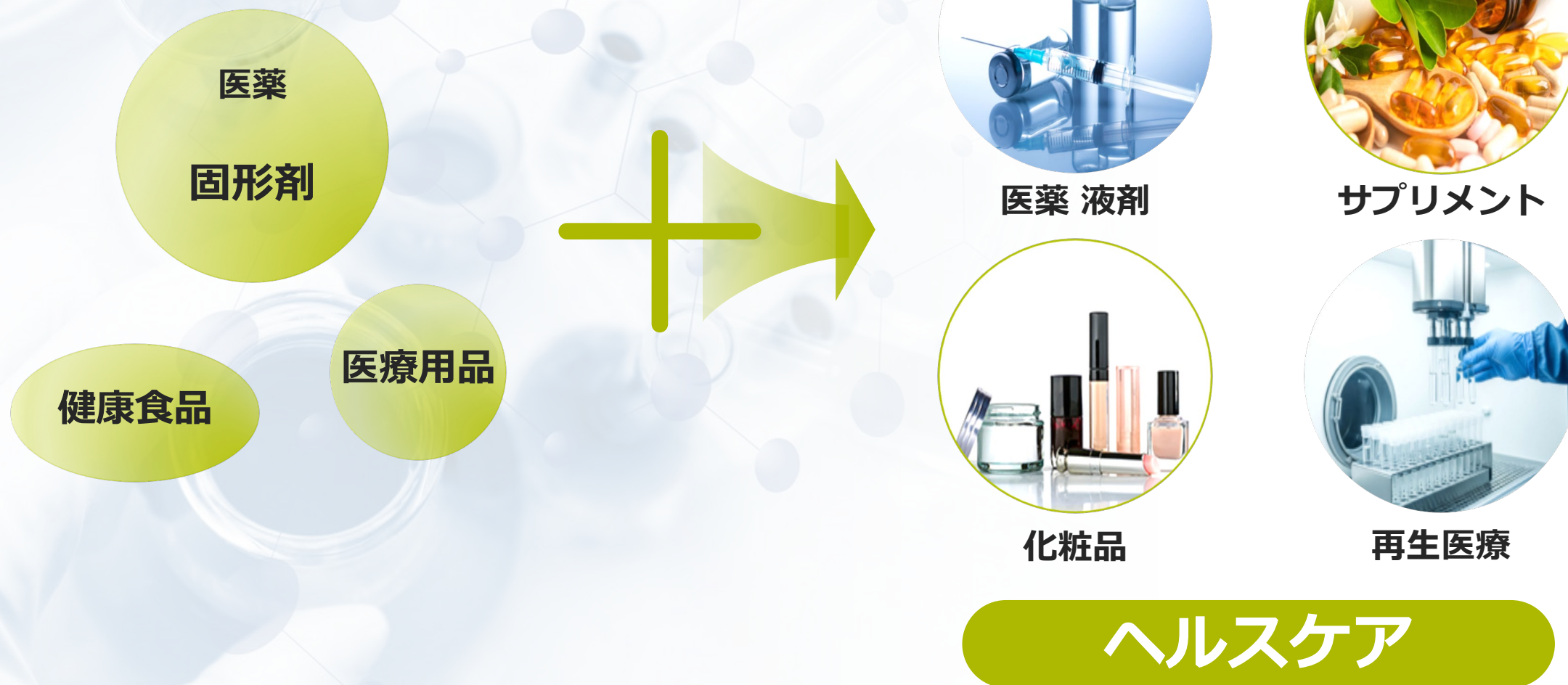
生産設備のエンジニアリング
を中心とした施設計画を具現化



※ IQ : Installation Qualification 「据え付けまたは改良した装置またはシステムが承認を受けた設計および製造業者の要求と整合することを確認し文書化すること」
OQ : Operational Qualification 「据え付けまたは改良したシステムが予期した運転範囲で意図したように動作することを確認し文書化すること」

事業領域の拡大

医薬で培った確かな経験・知識をヘルスケア業界へ活用





エアライン・空港分野

牽引車（トラクター）



防除氷車（デアイサー）



コンテナローダー



パッセンジャーステップ車



グリコール回収車



空港用除雪車



空港用凍結防止剤散布車



摩擦係数測定車





防災・防衛分野

特殊救護車
(スーパーアンビュランス)



拠点機能形成車



指揮系統車 (コマンドカー)



パッセンジャーステップ



キャビンサービスカー



防・除氷用器材



豊富な知見と新たな視点で基幹産業を支える



再生可能エネルギーへの取り組み

国内初
ブルー水素・アンモニア製造・利用一貫実証試験

INPEX
施主：株式会社INPEX

JGC

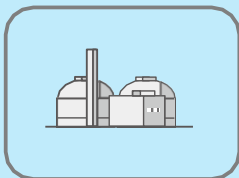
EPC：日揮株式会社

DJK

第一実業株式会社
DAIICHI JITSUGYO CO., LTD.

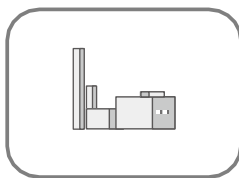
EPC：第一実業株式会社

水素発電



電力

アンモニア製造



アンモニア

つばめBHB（株）製
低温・低圧オンサイト型アンモニア合成設備

田原バイオマス発電所

バイオマス発電の特長

動植物由来の燃料を用い、
自然条件に左右されず安定発電

プロジェクト概要

出力5万kWのバイオマス発電所（コンソーシアム参画）
2025年4月に営業運転開始、20年間のアフターサービス提供

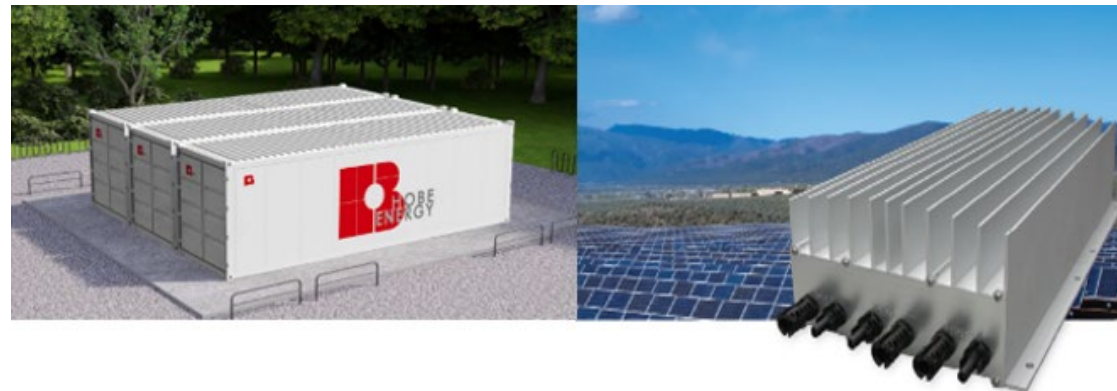
当社の役割

発電プラントの建設工事を担当、田原バイオマス発電所合同会社へ出資



太陽光発電設備に対する蓄電池の新しい接続方法 ～DCリンク

運用効果：無駄のない充放電により売電収益最大化
FIP対応：収益性の向上・事業安定化





設備のコーディネートによるさらなる最適化を実現

家電/住宅設備/食品包装/医療用機器等の製造分野において、生産性向上のため多種多様なお客様のニーズを具現化



家電



食品容器/部品トレイ



産業資材



二輪車



住宅設備



医療



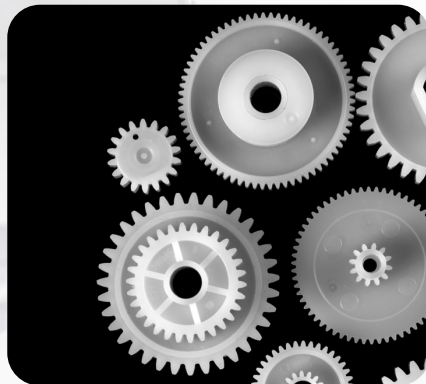
建設機械/農業機械



押出成形



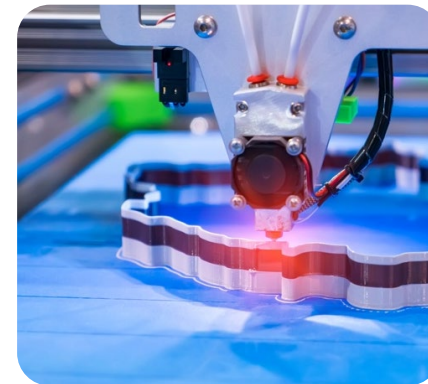
真空成形



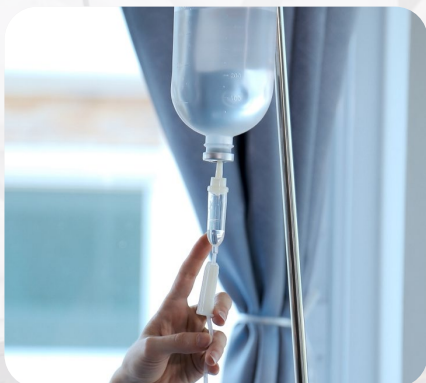
射出成形



塗装設備



アディティブ
マニファクチャリング



メディカルデバイス



自動機・省力化



サステナブル素材
リサイクル



アグリ
(イチゴ培養苗)



エンジニアリング

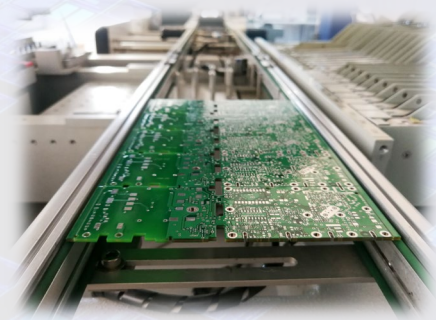


最先端技術と経験でものづくりプロセスの改革をもたらすソリューション

表面実装（SMT）

電子部品実装業界で40年以上の実績
高精度かつ高性能なSMTシステム
の取り扱い

- 電子部品実装関連システム
- 基板外観検査装置
- 各種搬送装置



「LOGITO」

工場や倉庫内における物流工程の
自動化を図るソリューションサービス

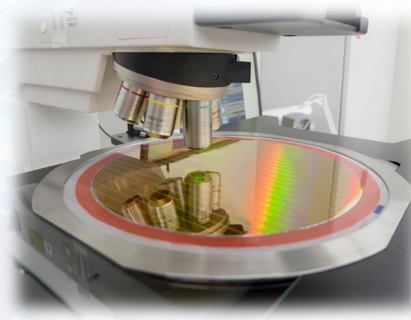
- 材料管理システム
- 自動倉庫
- 自律走行搬送ロボット
(AMR)



半導体・電子部品

半導体・電子部品の前工程および後工程、
先端パッケージ分野において各種装置の
取り扱い

- FOUP/FOSB梱包装置
- 常温ウェハー接合装置
- プラズマクリーナー装置



組立ライン・自動機

生産現場の効率化と品質向上を達成
最適な自動化設備・システムを提案

- 基板実装後の各種組立工程や
お客様のニーズに合わせた
組立・自動化の設備を
カスタマイズして提供



物流自動化ソリューション「LOGITO」



「LOGITO」は製造業や倉庫業等の企業様向けに、物流の自動化を図るソリューションサービスです

自由に、スマートロジスティクスをデザインする
LOGITO
ロジト

現場分析

レイアウト構想

機器選定

受注・施工・引渡

アフターサポート

1 国内外問わずさまざまなメーカーから調達可能

受け入れには中国のA社の■、仕分けには日本製のB社の●など
国内外さまざまなメーカーの機器から、最適解をご提案します。

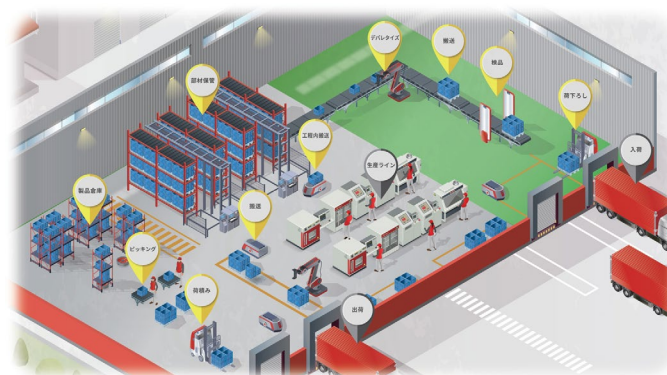
2 ワンストップサービス×トータルソリューション

グループ会社・パートナーと連携し、機器・設備のコーディネートから
アフターサポートまでワンストップでお応えします。

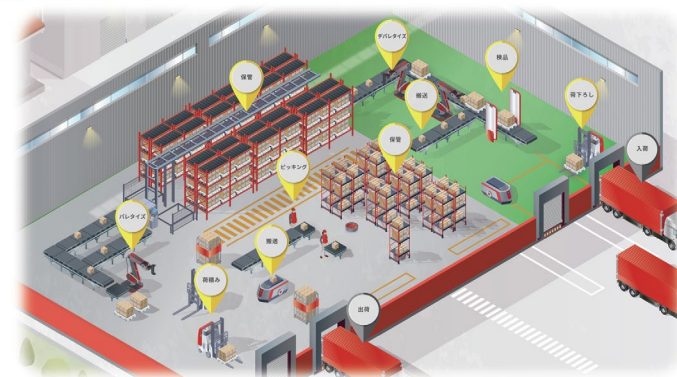
3 サポート&ニーズ×グローバルネットワーク

第一実業が長年培ってきたノウハウとグローバルネットワークで現場の課題を解決します。

製造工場内



物流倉庫





人口

世界1位

14億6,390万人(2025年)

GDP

世界5位

2026年に日本を抜き
世界4位となる見込み

製造業振興政策

Make in India

製造業強化を目指す
国家プロジェクト

労働人口

約**5億2000**万人

GDP実質成長率

前年度比 **6.5%**
(予想)

リスク要因

- 米国関税政策
- 人件費の高騰
- 従業員の離職率の高さ
- インフラの未整備

インド事業

インドにおける次世代型エンジニアリング商社の実現



地域戦略

3拠点+
2サテライトオフィス



営業体制

インド人営業22名体制で
現地企業攻略



エンジニアリング

エンジニア41名
(うちインド人38名)



デリー周辺

自動車・二輪・家電・携帯電話



グジャラート・ムンバイ周辺

自動車・二輪・半導体・製薬



バンガロール周辺

自動車・二輪・実装



チェンナイ周辺

家電・二輪・実装・化学



インドにおける

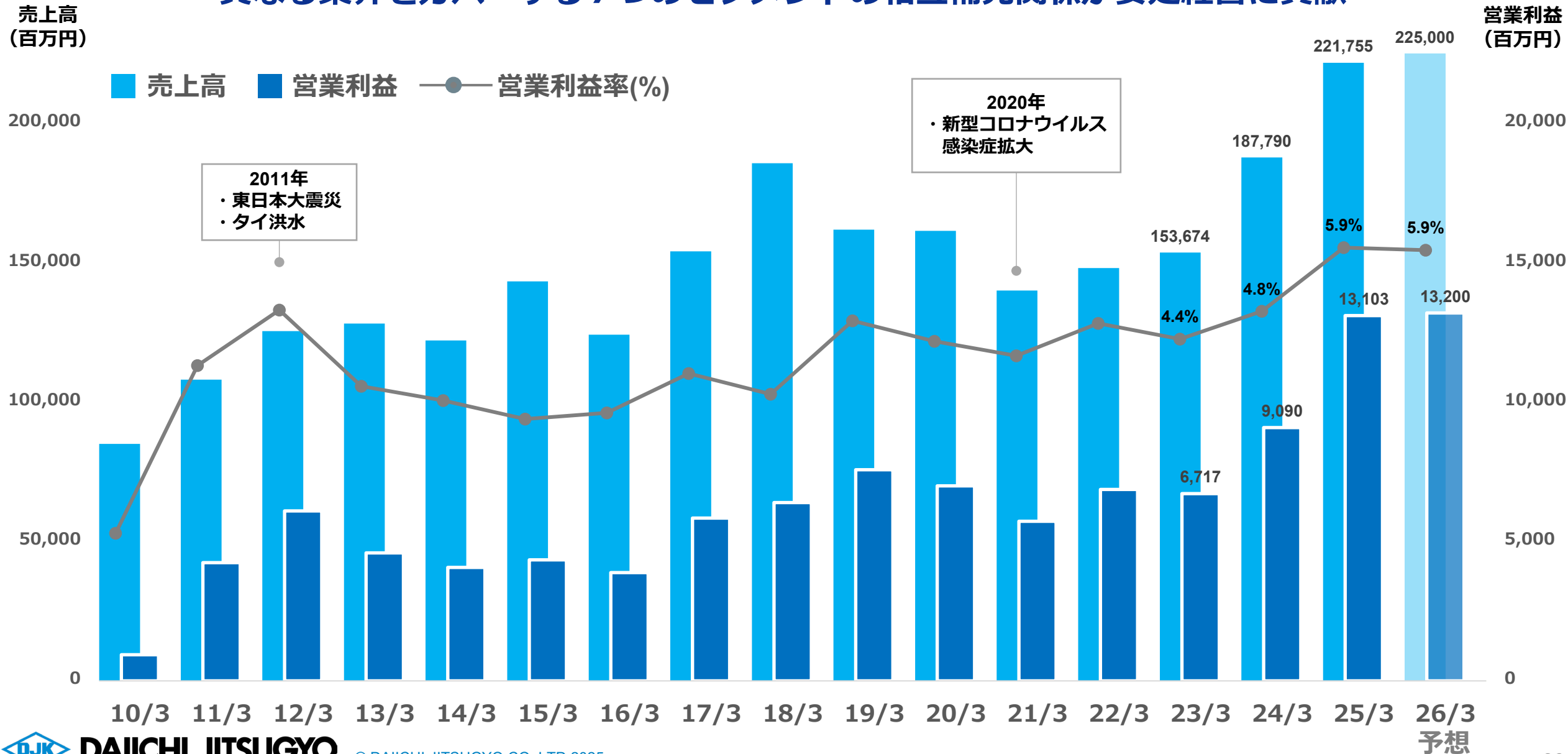
“次世代型エンジニアリング商社”

- ✓ テクニカルセンターの運営
- ✓ 製造子会社
“DJK ENGINEERING INDIA”の運営
- ✓ NITTOKU（株）との合併サービス会社の設立

03 成長戦略「V2030」 中期経営計画「MT2027」

連結業績の推移

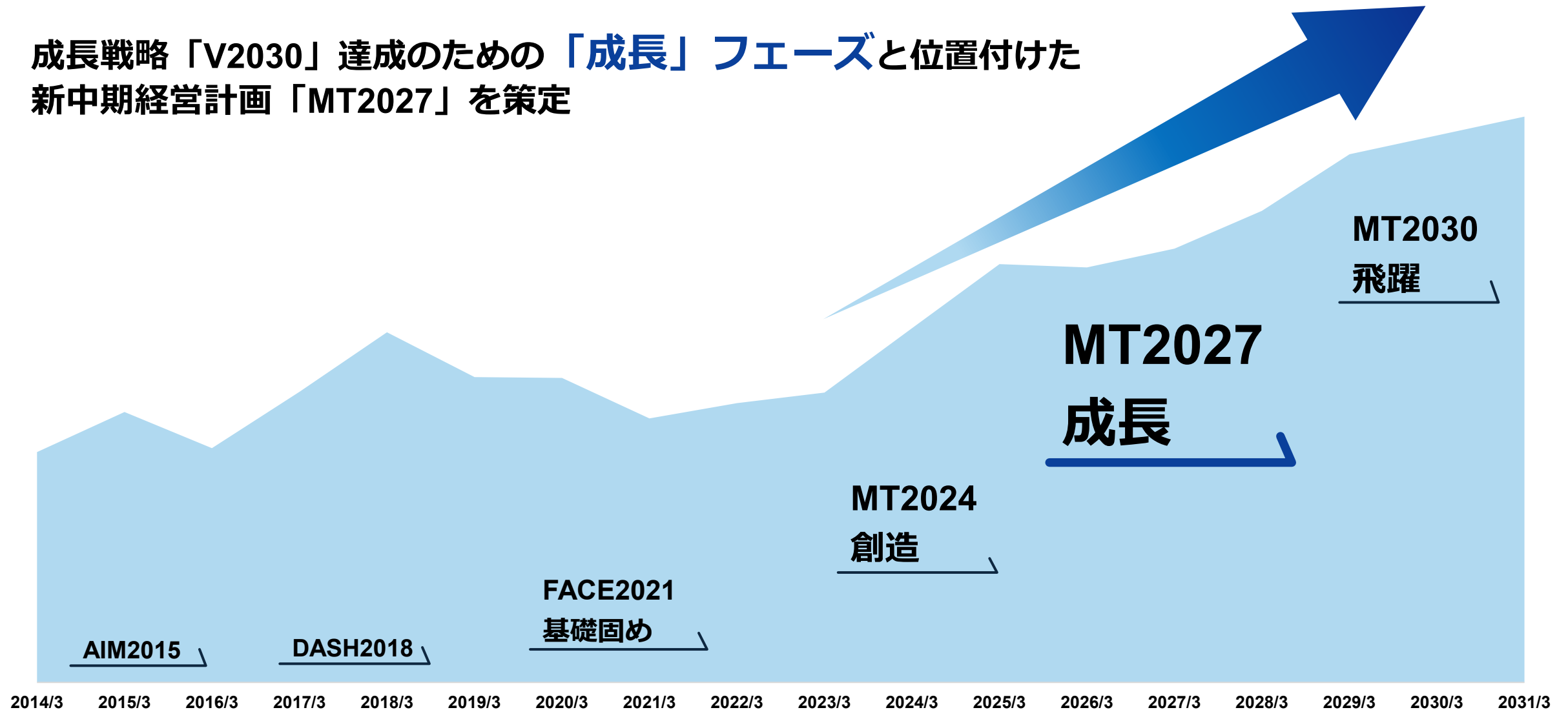
異なる業界をカバーする7つのセグメントの相互補完関係が安定経営に貢献



成長戦略「V2030」・中期経営計画「MT2027」

成長戦略 V2030

成長戦略「V2030」達成のための「成長」フェーズと位置付けた
新中期経営計画「MT2027」を策定



成長戦略「V2030」



* 2031年3月期 目標値

積極的な投資

PL経営 + BS経営

マルチステークホルダーを意識した経営

グローバルの成長を取り込む

モノ売りから「モノ x コト」売り

DX推進

戦略的事業投資

事業投資の基本方針

- ・ ビジネスの拡大・強化および新ビジネスの創出を目的とし、投資先との連携を強め、経営資源を投入して収益力を向上させることを目指す
- ・ キャピタルゲインのみだけを追求するのではなく、実業を通じたシナジー創出による企業価値向上を目指す

中核領域

既存7セグメントを
強化する投資

隣接領域

社会価値を生み出し
社会課題の解決に向けた
取り組みへの投資

- 脱炭素社会 ● 3R・循環型社会
- サプライチェーン 社会インフラ
- AI・IoT 次世代通信
- 医療 安全・安心な暮らし

新規領域

新たなビジネス領域
ビジネスモデルへ
挑戦するための投資

中期経営計画「MT2027」

売上高

2,500億円

営業利益

150億円

* 2028年3月期（3年目計画値）

1.成長を加速する事業戦略

- ①事業ポートフォリオの最適化
- ②事業投資の推進
- ③グローバルビジネス拡大
- ④エンジニアリング機能の拡充

2.変化に対応するレジリエントな経営基盤

- ①人的資本の価値向上
- ②資本効率の最大化
- ③ガバナンスとリスク管理の強化
- ④DXでのイノベーションと競争力強化

2026年3月期 第2四半期 決算概要

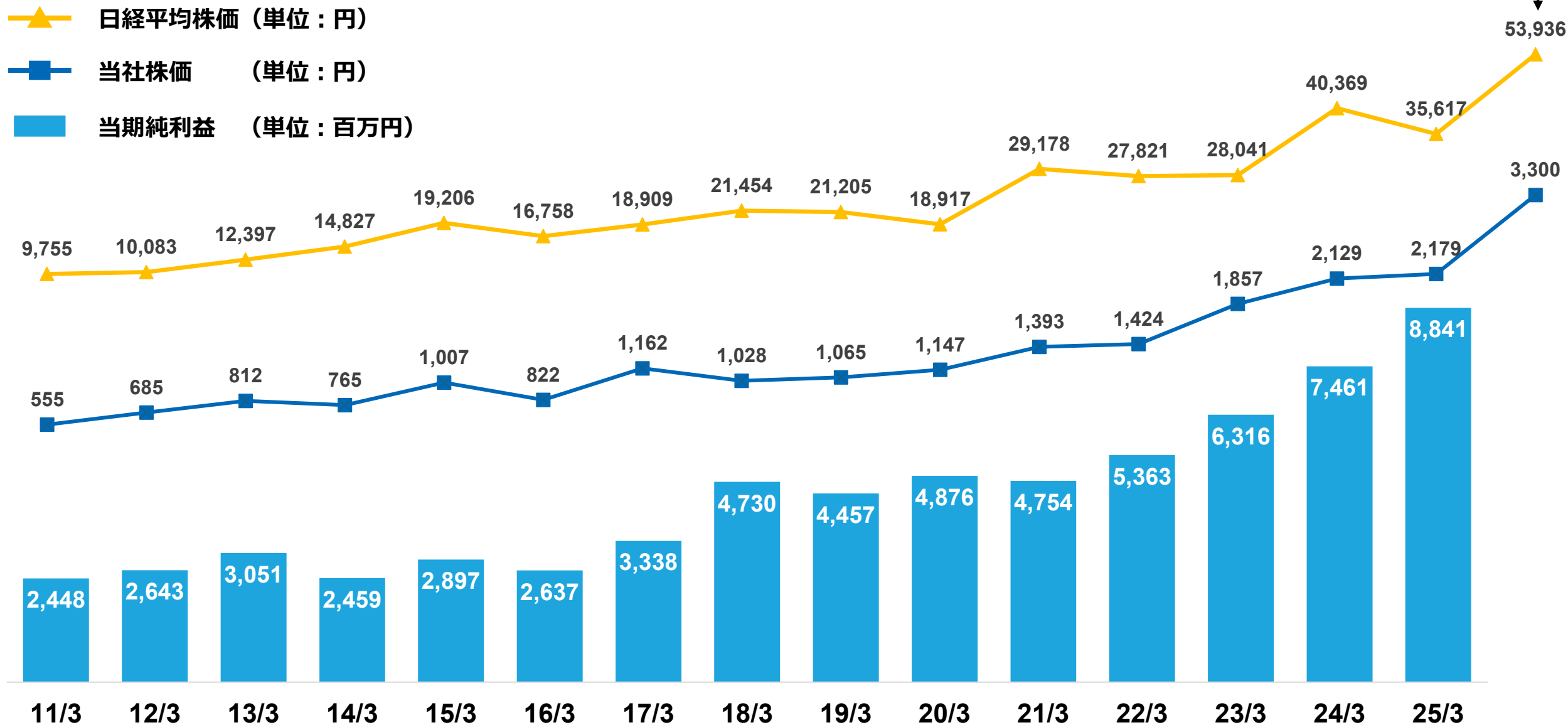
単位：百万円

売上高、各段階利益ともに第2四半期累計で過去最高

	2025/3 (2Q)	2026/3 (2Q)				
	実績	実績	前年同期比	期首予想	期中修正	進捗
受注高	102,924	86,165	▲ 16.3%	230,000	-	37.5%
売上高	101,288	107,326	+ 6.0%	220,000	225,000	47.7%
営業利益	6,126	6,591	+ 7.6%	12,000	13,200	49.9%
経常利益	6,214	6,705	+ 7.9%	12,300	13,500	49.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	4,290	4,966	+ 15.8%	8,600	9,600	51.7%

04 株価・株主還元

当社株価と日経平均株価の推移



注: 2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の株価は株式分割を反映したものです。

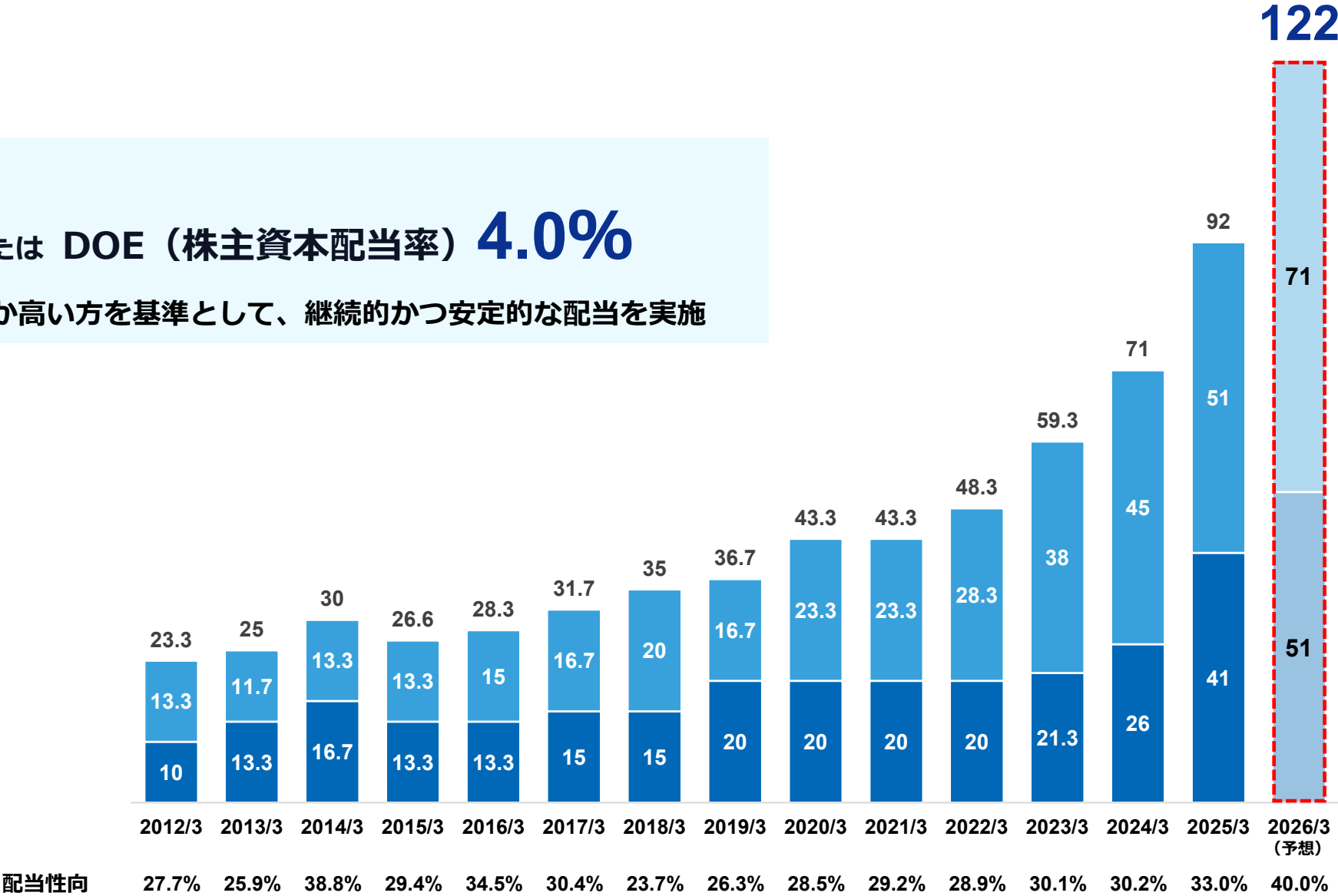
© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025

配当金・配当性向

配当方針

一株当たり年間配当金を
連結配当性向 **40%** または DOE（株主資本配当率） **4.0%**
の各基準で算出した金額のいずれか高い方を基準として、継続的かつ安定的な配当を実施

■ 期末配当（円）
■ 中間配当（円）



注：2023年10月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。掲載の年間配当金は株式分割考慮後の数値を記載しております。

05 本日のまとめ

特定の資本グループに属さない **独立系総合機械商社**

現場力

モノづくり現場に
精通した営業が
最適設備を提案



エンジニアリング

多様な知見と経験で
複合的なエンジニア
リング機能を提供



グローバルネットワーク

18か国36拠点の
海外ネットワークで
お客様をサポート



ロジスティクス

物流専門部署による
国際物流の効率化と
高度なリスク管理



次世代型エンジニアリング商社

世界のモノづくりに、創造の翼を。



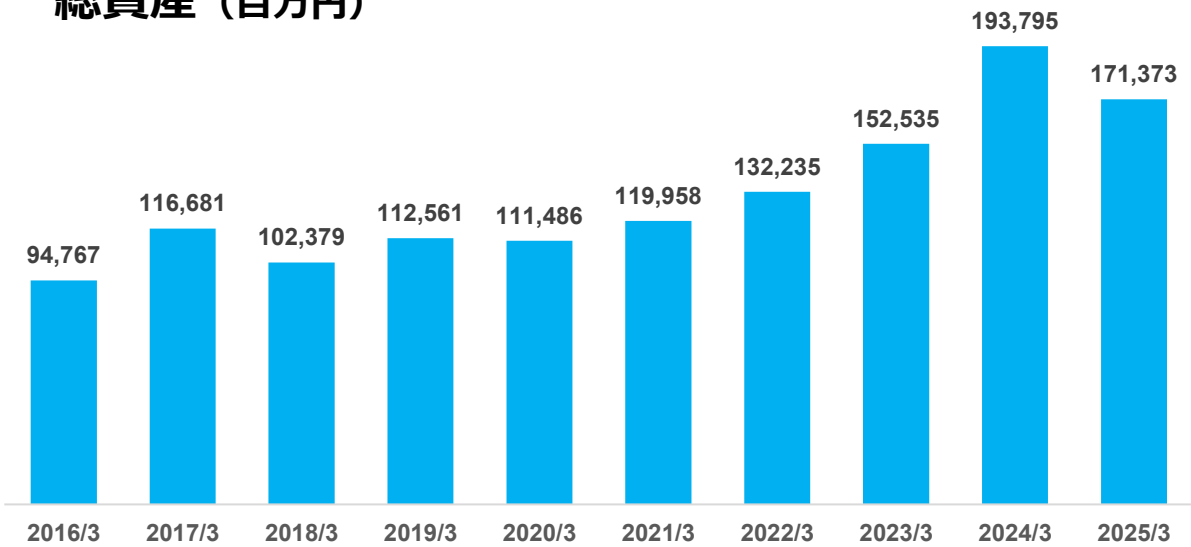
第一実業株式会社

参考資料

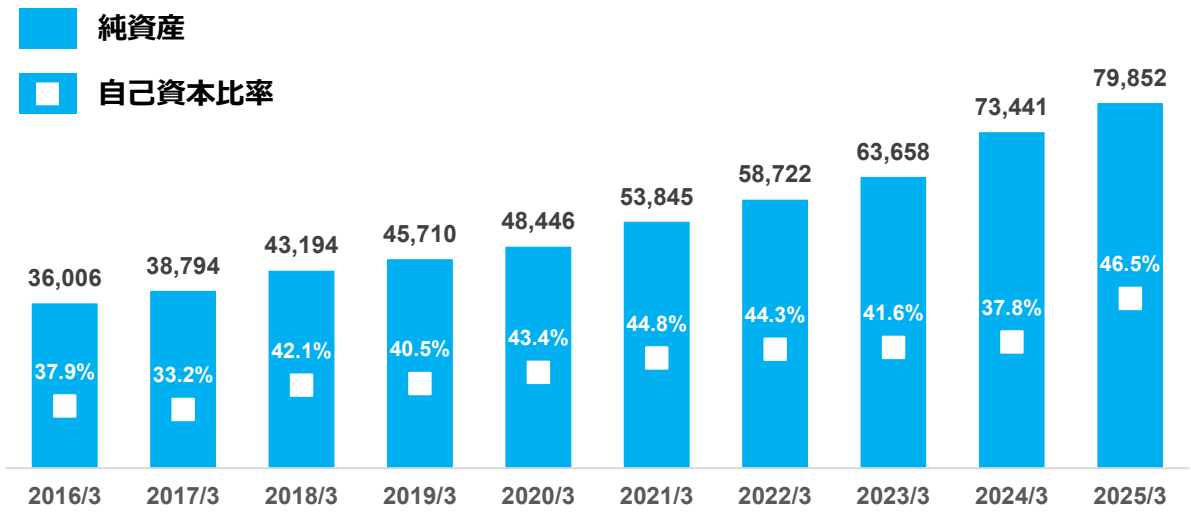
- 連結財政状態の推移
- 連結業績の推移
- セグメント情報
- 中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値
- 新マテリアリティ

連結財政状態の推移

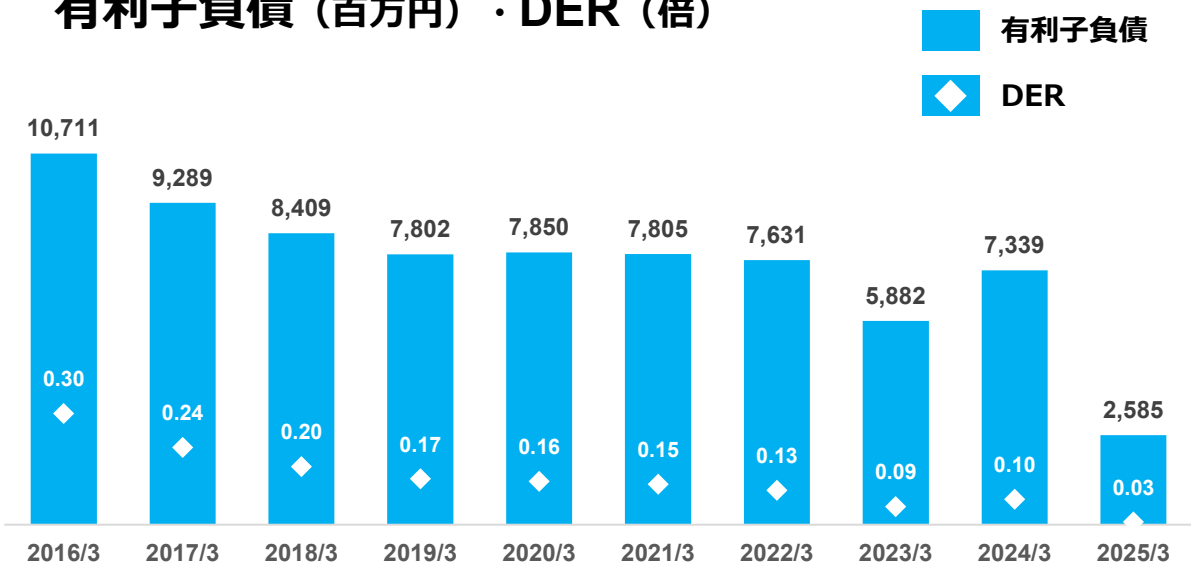
総資産（百万円）



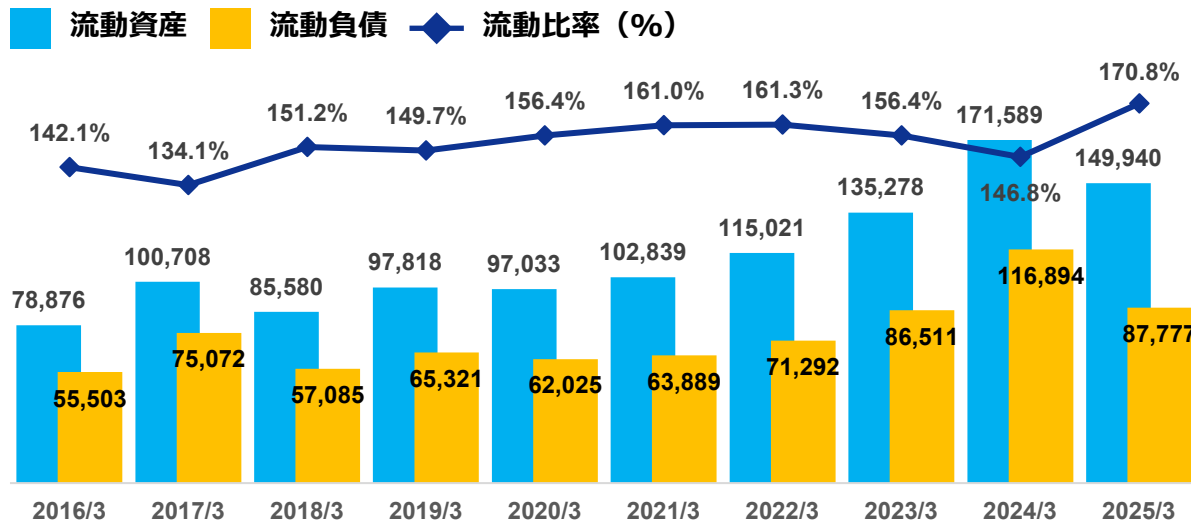
純資産（百万円）・自己資本比率（%）



有利子負債（百万円）・DER（倍）

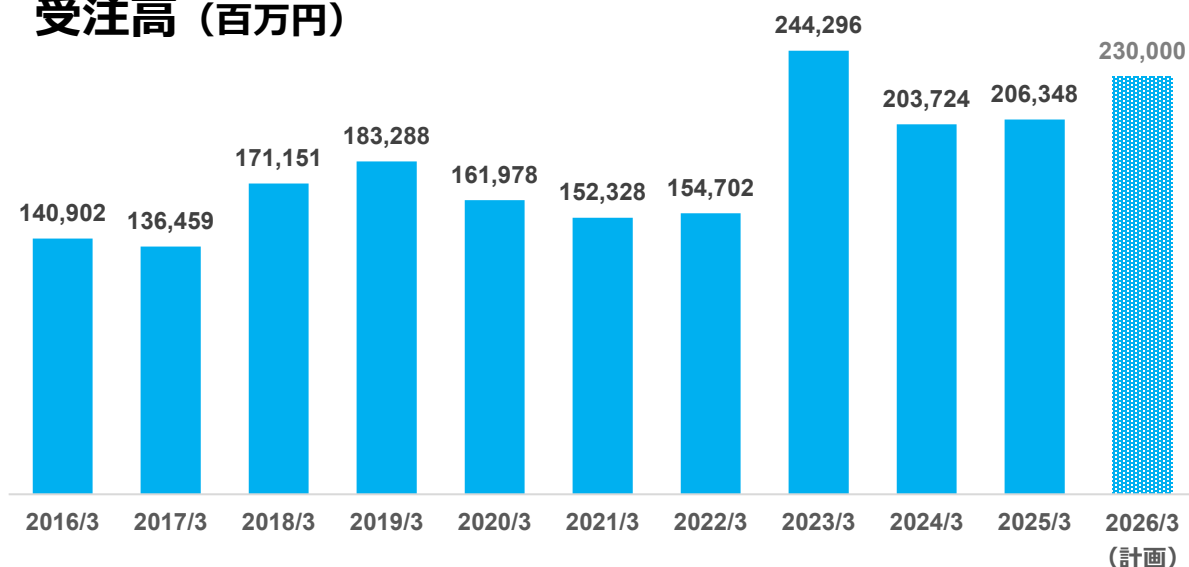


流動資産・負債（百万円）／流動比率（%）

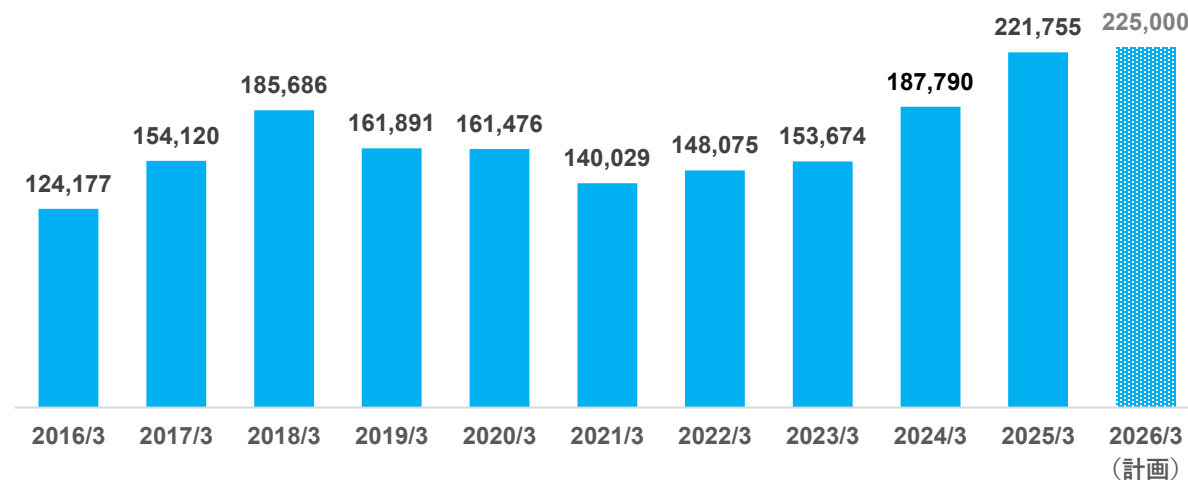


連結業績の推移

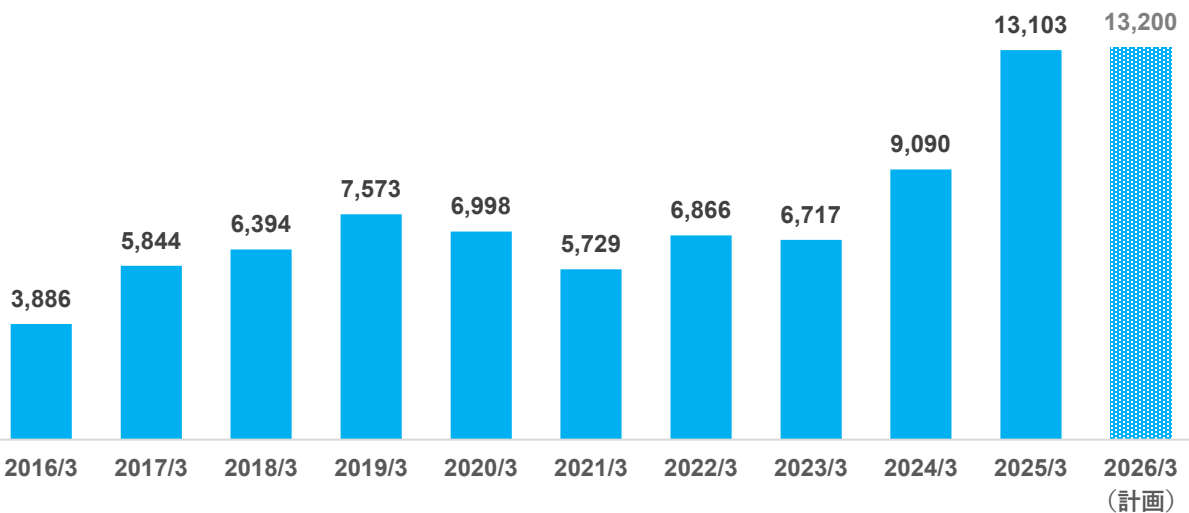
受注高（百万円）



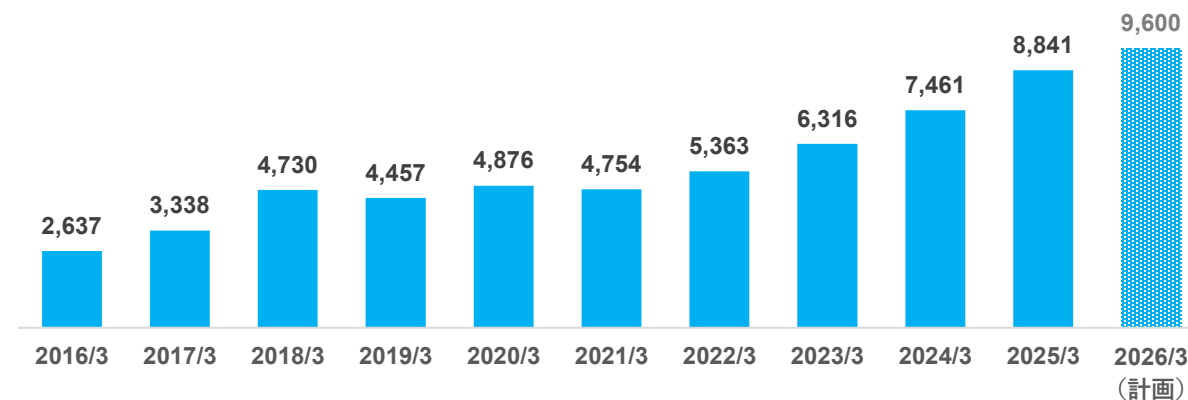
売上高（百万円）



営業利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）



7つの事業領域

幅広い業界に事業を展開し、安定経営を継続

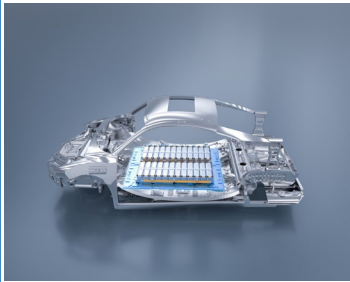
プラント・エネルギー



資源開発
石油
化学
素材
脱炭素・
再生可能エネルギー
DX
エンジニアリング

10.8%

エネルギーソリューションズ



リチウムイオン・
バッテリー
燃料電池
リサイクル
次世代電池

24.4%

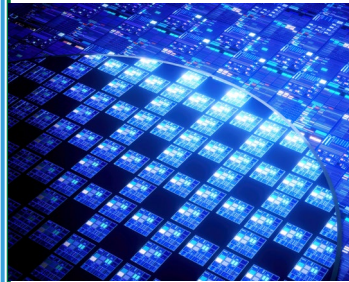
産業機械



家電・OA
食品包装
医療機器
住宅設備
物流資材
アグリ
(イチゴ培養苗)

13.3%

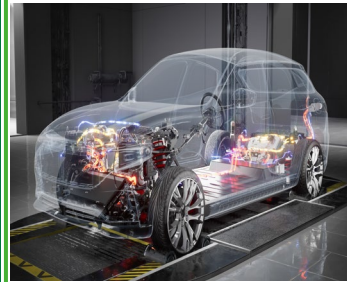
エレクトロニクス



表面実装
(SMT)
物流自動化
ソリューション
(LOGITO)
半導体・電子部品

22.6%

自動車



車両内外装
パワートレイン
カーエレクトロニクス・ADAS

18.4%

ヘルスケア



医薬品
化粧品
健康食品
再生医療

7.1%

航空・インフラ



航空
空港
防衛・防災
CS
(保守点検・修理
部品)

3.4%

* 円グラフ内の数値は売上高構成比率 (2025年3月期)

参考資料-3

中期経営計画「MT2027」セグメント別計画値

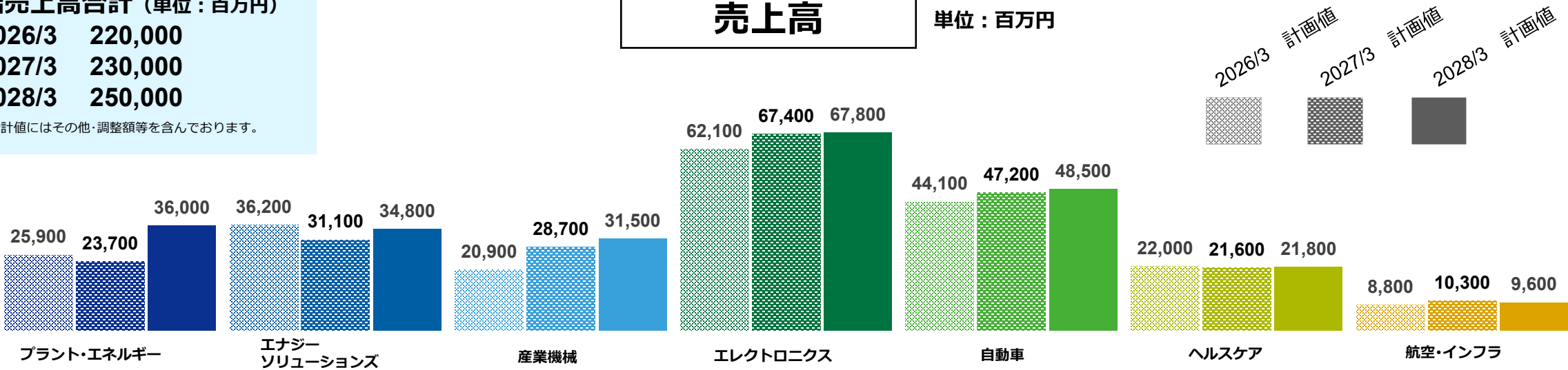
連結売上高合計（単位：百万円）

2026/3	220,000
2027/3	230,000
2028/3	250,000

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

売上高

単位：百万円



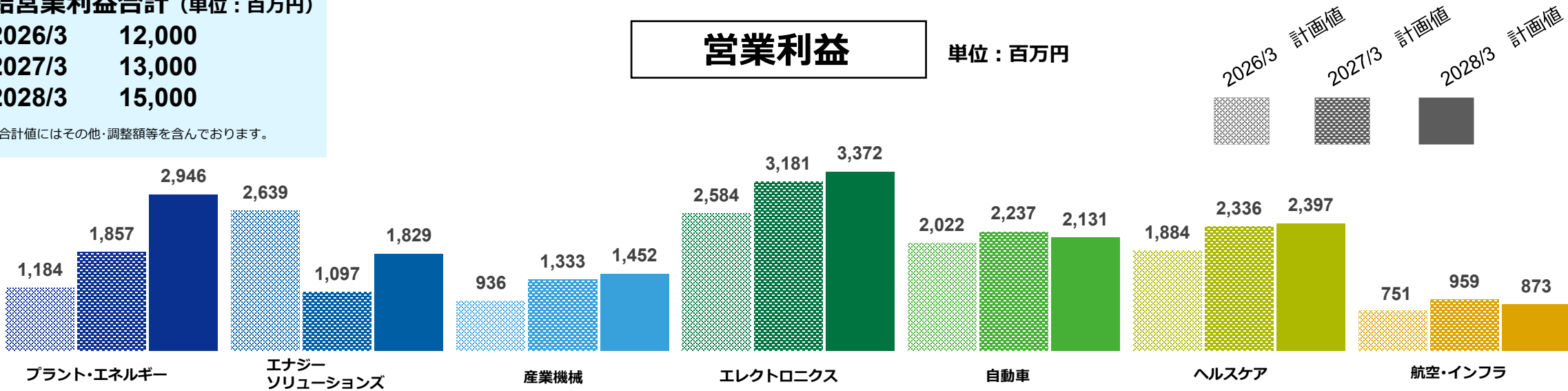
連結営業利益合計（単位：百万円）

2026/3	12,000
2027/3	13,000
2028/3	15,000

(注) 合計値にはその他・調整額等を含んでおります。

営業利益

単位：百万円



01

ものづくり現場における新たな価値の創造

徹底した現場主義により顧客ニーズを発掘し、社会課題の解決につながる新たな価値を提供している。

02

エンジニアリング機能強化によるソリューションの高付加価値化

当社のミッションである、人と技術をつなぐインテグレーション機能を発展させ、ものづくりを中心としたお客様の現場で、圧倒的な存在価値が認められている。

03

働く環境の整備と多様な人材の確保・育成

誰もが安心して働ける環境と、多様性・包摂性を尊重する企業風土の中で育まれた社員一人一人の強みが、組織全体の強みにつながり、創造的進化を続けている。

04

気候変動への取り組みとサプライチェーンマネジメント

地球温暖化をはじめとするさまざまな社会課題の解決に向けた取り組みを、サプライチェーン全体との協業により推進している。

05

ガバナンスの拡充

事業環境の変化に機敏に対応するグループ経営体制を構築し、効率的かつ健全で透明性のある、ゆるぎないガバナンス体制を維持・強化している

WEBサイトのご案内

第一実業WEBサイト

2025年7月18日にWEBサイトを全面リニューアルいたしました。
当社への理解の促進を目的として「DJK Value」を新設し、
当社の企業競争力を基軸としたコンテンツを掲載しています。
事業内容やサステナビリティ、株主・投資家情報などについても、
より充実した内容といたしました。是非、ご覧ください。



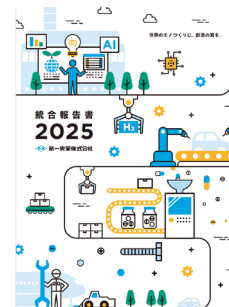
<https://www.djk.co.jp/>



IR資料のご紹介

01 統合報告書

<https://www.djk.co.jp/ir/library/report/>



統合報告書2025では、
当社の財務・非財務情報を総合的に
ご確認ください。



02 決算関連資料

<https://contents.xj-storage.jp/objects/AS03440/4429c2cb/ef1d/4ece/9f9e/5c15956d40b7/ir.zip>

FACT SHEET									
2024年3月期(2024年1-3月) / Third quarter of performance (FY2024)									
■売上高 (Sales Revenue)					■売上高 (Sales Revenue)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)					2023年3月期(2023年1-3月)				
2024年3月期(2024年1-3月)									

決算説明資料・ファクトシートなどの
最新のIR資料をダウンロードいただけます。



03 個人投資家の皆様へ

<https://www.djk.co.jp/ir/individual/>

個人投資家様へのコンテンツをご用意しております。



DAIICHI JITSUGYO

© DAIICHI JITSUGYO CO.,LTD.2025



第一実業株式会社

世界のモノづくりに、 創造の翼を。

 **第一実業株式会社**

現場を見る。課題に耳を澄ます。
最適な機械と、より良い生産の仕組みを考える。
これらはすべて、わたしたち第一実業のしごとです。

人と人をつなぐ。技術と技術をつなぐ。
ユーザーのモノづくり企業と、産業機械のメーカーをつなぐ。
わたしたちは、単なる機械商社ではなく、
独自のエンジニアリングを通じて、
日本の、そして世界のモノづくりを支えてきました。

時代が変われば、世の中のニーズも変わります。
国内と海外ではなく、国境のない事業環境へ。
実体のある製品から、サービスやソリューションへ。
顧客課題だけでなく、社会課題も考えるビジネスへ。
サステナブルな社会の実現にむけて、
既存技術と新たなテクノロジーの融合が期待されています。

あらゆる製造現場を支え、新たな付加価値を提供する。
お客様とともに成長し、豊かな社会に貢献する。
世界のモノづくりに、創造の翼を。
第一実業はこれからも、
世界中のお客様とともに未来へと羽ばたきます。

